

おかやまプレーパーク開催のきろく

開催日時：毎週水～日曜日

4月～9月 10:00～17:00 / 10月～3月 10:00～16:00

開催場所：国際児童年記念公園こどもの森（岡山市北区学南町3-6-1）

2021 まとめ

【記録】

開催日数 174日

参加者数 8,576人

【学生の受入れ】

インターンシップ等による学生の受け入れ

5団体27名

※コロナ禍でのこどもの森閉鎖期間

5月16日(日)～6月20日(日)

8月20日(金)～9月30日(木)

ちよっくら息抜きプレーパーク

(コロナ禍での子ども、親子の居場所をつくる)

開始日数 20日

開催場所 せせらぎ広場、ももっ子広場、

ひとひとハウス

参加者数：257人(子ども170人、大人87人)

赤い羽根共同募金「地域ささえあいプロジェクト」

プレーパーク継続のため、今年も募金活動を行いました。5年目となる今年も、多くの方々からご支援をいただき誠にありがとうございました。おかげさまで目標の100万円を超え、1,790,000円の配分金をいただくことができました。プレーリーダーの人件費、研修費等々に、大切にに使わせていただきます。子どもがのびのびと遊べる場、人と人とが関わりつなげる場、だれもが自分らしく過ごせる場づくりを継続し、よりよい場にしていくために、日々研鑽してまいります。

サポーターの皆様

おかやまプレーパークをご支援頂き、ありがとうございます。

明平深雪 井上美鈴 岡田香子 河瀬祥子 木村俊夫 窪田昌子 玄馬淳子 貞光敏江 田中裕希 玉井とし子
徳田文美 徳田包文 徳田睦美 船田文子 南田以久子 南田章滋 美咲美佐子 他

おかやまプレーパークには、赤ちゃんから小学生、もっと大きな子どもたちまで、いろんな子どもが遊びに来ています。あなたも、プレーパークの運営に関わってみませんか。

おかやまプレーパークでは、サポーターを募集しています。サポーターには、活動記録等を年1回お届けします。プレーパークの運営には、経費がかかります。例えば、プレーリーダーの人件費、材料、工具…等々。サポーターになってくださる方が1人増えることで、その分だけプレーパークを続けて行くことができます。

遊び場の応援団として、あなたの参加をお待ちしています。

●サポーター：1口=1,000円/1年分(4月～3月)



特定非営利活動法人

岡山市子どもセンター



〒701-0144 岡山市北区久米348番地
TEL. 086-242-1810
FAX. 086-242-1830
E-mail. info@kodomo-npo.jp
HP. http://www.kodomo-npo.jp



おかやま プレーパーク REPORT 2021

特定非営利活動法人
岡山市子どもセンター

おかやまプレーパーク 2021年度をふり返って

コロナ禍のなかでの試行錯誤、 再始動に向けた動き



に来ていた若者たちやお父さん・お母さん、つながりのある大学生など100人以上の方々で完成しました。使えるようになるのが楽しみです。

おかやまプレーパークについて

about PLAYPARK



2021年度もコロナ禍でのおかやまプレーパーク開催になりました。それに加え、緊急事態宣言によりこどもの森が閉園になり、おかやまプレーパークも開催できない日々が続きました。そのため、手紙でやり取りができるようにポストを設置して閉園中もやりとりできる様に工夫しましたが、参加者からは「おかやまプレーパークが閉まると行くところがない」「逆に他の公園が密になってしまっているからこどもの森が開いてほしい」という声が届いてきていました。

その後、緊急事態宣言も延長したため、おしゃべりできたり、遊んだりできる場が必要だと感じ、親子向けにもっと子広場やせせらぎ広場で『ちょっくら息抜きプレーパーク』を開催しました。

また、近所の方からは「おかやまプレーパークが閉まっているから〇〇君が遊び相手を探しているのをよく見かける」などの声が聞こえてきたため、小中高校生向けにこどもの森の近くのひとひとハウスを借りて『ちょっくら息抜きプレーパーク』も開催しました。

参加者からは「久しぶりに会えて嬉しい」など喜びの声が聞こえてきました。また、小学生から「こどもの森の方が楽しい!!」と素直な声を聞きました。

最後に2021年度は新遊具をみんなで作り始め、完成させたのも大きな出来事です。かつて小学生の頃遊び

プレーパークは1943年にデンマークで誕生した子どものための遊び場です。日本では、1979年に行政と市民による共同運営で世田谷区の国際児童記念事業として「羽根木プレーパーク」が誕生しました。現在、日本では400以上の地域でプレーパークの活動が行われています。私たちが岡山でプレーパーク活動を始めたのは2001年3月。子どもの「やってみたい」を大切に旧出石小学校校庭や大供公園で開催し、その後、日常的に自由に遊べる場を目指して2008年4月にこどもの森で週5日連続開催を始めました。子どもたちは失敗や成功を繰り返し、様々な人との関わりを通して自分らしく居られる場をつくっています。

岡山市からの受託事業である「岡山市プレーパーク普及事業」や「緑の遊び場プロジェクト」、出張プレーパーク等、子どもが豊かに育つ地域づくりを目指し市内にプレーパーク活動を広めています。子どもが自由に居られる場を市民や行政、様々な方と一緒に作っていきたくと考えています。

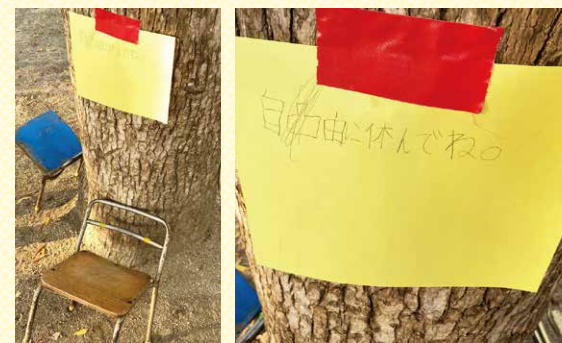
プレーパークコラム 遊びが生まれる時

おかやまプレーパークには、ふたりのプレーリーダー、マッキーとゆっきーが常駐しています。日々の子どもたちの様子、子どもたちが教えてくれた「子どもの声」や「子どもの今」をプレーリーダーから紹介します。日々、成長していく子どもたちのその瞬間を感じていただけると幸いです。



「不思議」

セミを捕まえる。セミの力が知りたくなったのか？
セミに藤の実を持たせてみる。
遊んでいると不思議がいっぱい。



「休む場所としてのプレパ」

自由登校の小学生が
来た人のためにつくってくれた休憩所。
すごく訴えるものを僕が感じているだけかもしれない。



「裸足」

遊んでいたら大雨が降ってきた。すぐやんだ。
水たまりがたくさん!!
嬉しそうに公園を走り始めた。
子どもの足元を見ると…
裸足!!
きっと裸足じゃないと感じられない何かがあるのだろう。



「裸足のレベル」

いつも裸足で遊んでいる子どもたちを真似て
私は、裸足で遊んでいました。
すると、2歳の女の子に
「ゆっきー、はだし、いたいよ」「これ、はいていいよ」と、女の子の靴を履かせてもらいました。
どうやら、私はまだ裸足で遊ぶレベルには達していないようです。

「ケーキ」

タイワンプウをバケツにつめて、ひっくりかえすとケーキの出来上がり。こんな使い方があるのか?!
・・・と驚く僕。



「遊びの伝承」

片付け時間に盛り上がる鬼ごっこ。話し合いで中学生が鬼になり、ワーっとみんな散っていく。異年齢の鬼ごっこ。いい雰囲気だなぁ〜と全体を見渡すと、木の中に隠れている女の子が!! 鬼の人は気にもしてないけど、本人は見つからないようにと終始真剣な様子。遊びの伝承を感じました。



「いいこと考えた!!」

お弁当の冷めたパスタをどうやって温めようか? 悩んでいる中学生。「いいこと考えた!!」と男の子たちが持ってきたのは…
ままごと用の砂まみれのフライパン。
もちろんそれが採用される事はありませんでした。その一週間後、中学生は誰に言われるわけでもなく、ままごと用のフライパンに紙を敷いてカレーパンを温めていました。



「名のない遊び」

小学生「できたよー」僕が見に行く。僕「何しとる?」と尋ねると、小学生「いや〜こーゆーの好きなよ〜」名をつけるとしたら、整地遊び!? けど、名をつけないほうがいいのか!? 言葉じゃ説明できない、遊びがたくさんあります。

「さきいか」

僕が木材を削っていると、女の子がやってきて「私、さきいか好きなの」と袋に削りカスを詰めはじめる。何が遊びになるかわからない。(笑)



「ヘリコプター」

小学生が持ってきたゴムプロペラのヘリコプター。「マッキーやってみる?」と言われたので、やってみると…墜落。すると小学生が、「マッキーはこれのこと好き?」なので、心の中で「飛んでくれ! 大好きだ!!」と唱えてもう一度やってみると、飛んだ!! なんだか、「遊んでる?」って言われたような気もするし、僕が楽しんでなかったところに、遊びを入れてくれたおかげで飛んだような気がする。好きか嫌い、やりたいかやりたくないか、子どもってすごい事を言うてる。

「ゲリラ豪雨」

秘密基地づくり
午前中に完成して、みんなそれぞれ遊んでいると、ゲリラ豪雨!!
「雨だー基地に逃げろー」
それぞれが基地に逃げて、やむのを待ちました。
なんだか楽しかったな〜。



「ボードゲーム」

午前中から、小学生が持ち寄ったボードゲームを始めると、3歳の男の子がボードゲームで使うカラフルなコインに興味を持つ。
ゲームがうまくいかない事に困るメンバー。
すると小学生が「わかった!!」
とコインを3歳の男の子にすべて渡す。
コインが必要な時には、男の子に「〇色と〇色のコインください」とお願いすると男の子がコインを渡してくれ、スムーズにゲームが進むようになる。
男の子もゲームをやっていたメンバーも楽しめるルールやコツがどんどん生まれる。
伝え方が下手だと違う色が渡される。
男の子は緑のコインが好き。
男の子の気分をよくするとボーナスがもらえる時がある。
そこにいる人が楽しくすごせるルール。
子どもたちはつくるのが上手いな〜。

「ちょっくら息抜き

プレーパークにて」

安心の場所いいな
人が集まる 誰かと遊べる
そこに行ったらいる誰か
泣いたらあやしてくれるお母さん
そんな当たり前にある安心
地域を感じる 地域とつながる
散歩しているおばあちゃん
犬を飼ってる近所の人
一緒に遊んでくれるお兄ちゃん
色んな人がみんなで子どもを見守っている
みんながつくる地域の居場所
そんな場所っていいな〜



「遊ぶ」は生きた証 = 自信

「あーしなさい」「こーしなさい」と言われるわけでもなく遊ぶ子どもたち。

自分で決めるという「遊ぶ」経験は、自分を信じることそのものです。

この経験が自信につながっていきます。

普及事業

PROMOTION

岡山市プレーパーク普及事業

「子どもの遊ぶ声が聞こえる地域づくり」を目指し、市内3か所の地域で、プレーリーダーの養成およびプレーパークの開催を、地域の方々と協働で実施しました。

◆プレーパークの開催と参加者数

- 岡山西部総合公園(仮称) 10月23日(日) 116人
- 桃太郎公園 10月31日(土) 190人
- 亀山城跡 11月21日(日) 82人

◆プレーパーク体験会

- 真星プレイグラウンド 8月7日(土) 23人
(申請団体: キイロイタネ)
- 内尾西公園 10月28日(木) 31人
(申請団体: 興除・曾根おやこクラブ)
- 伍社神社 12月4日(土) 21人
(申請団体: 福田学区「子ども遊びプロジェクト」)
- 西紅陽台近隣公園 12月12日(日) 176人
(申請団体: 西紅陽台自治会)

◆研修会(定員を通常の半数とした)

- 基礎研修会 9月23日(木・祝) 49人(※講師のみオンライン参加)
(講師: 嶋村仁志、関戸博樹 会場: 岡山ふれあいセンター)
- スキルアップ講座 2021年1月9日(日) 16人
(講師: 嶋村仁志 会場: 岡山県生涯学習センター)
- 全体研修会 2021年2月11日(木・祝) 54人(※オンライン参加)
(講師: 嶋村仁志、関戸博樹 会場: 岡山国際交流センター)



緑の遊び場プロジェクト

公園のもつ様々な魅力を発見し、これからの公園のあり方、関わり方を再考する機会として、街なかの公園で自然に触れ、人と関わりながら子どもが主体的に遊ぶことのできる場づくりを行いました。

- 野田屋町公園 10月16日(土) 411人
 - 西川緑道公園 11月23日(火・祝) 573人
 - 外遊び展(JR岡山駅エキチカひろば)7月14日(水)~18日(日)272人
2022年2月28日(月)~3月2日(水)参加者カウントなし
- ※コロナ禍でホコテンの開催中止に伴い、道あそびは開催なし



出張プレーパーク

- 岡山市立上南公民館 4月24日(土) 80人
- 見晴らしの丘 12月5日(日) 110人
- 〃 3月20日(日) 130人
- 旭東小学校児童クラブ 2022年3月30日(水) 40人



おががま プレーパークでの年間行事

- 森であそぼ!
対象:乳幼児親子
開催日:
毎週木曜日(11:00~)
年間41回開催
- 牛乳パックカーづくり
毎月1回
年間12回開催
- ベーゴマ大会 毎月1回
年間12回開催
- 誕生祭 4月29日
- もっと知ってみる!どんぐり
10月31日
※協力:岡山県自然観察指導員連絡会
- おもちつき 1月16日



2022年 大型遊具づくり 3月4日~3月31日
「子どもが小さい頃お世話になった」とお父さん。久しぶりに姿を見せてくれた高校生...等々、色々な方の協力で完成した大型遊具。

